



# 松南の風



## 前期学校評価 報告①

—ご協力ありがとうございました—

1学期末の学校評価・保護者アンケートへのご協力、ありがとうございました。児童アンケート（7月実施）の結果もふまえて、教職員自己評価も行いました。本校の前期学校評価の結果をもとにした学校運営の成果と課題、今後の方策の概要を、保護者アンケートの意見記述への回答や学校関係者評価委員会の要点とともにお知らせいたします。

### 平成30年度前期 学校評価(7月) 結果と分析

三者比較表【肯定的評価の割合】 1「よくそう思う」+ 2「だいたいそう思う」

| 評価項目     |    |                        | 総合評価 |   | 児童   | 前年後期 | 保護者  | 前年後期 | 教職員   | 前年後期  |
|----------|----|------------------------|------|---|------|------|------|------|-------|-------|
| 確かな学力の育成 | 1  | 学習準備(忘れ物ゼロ)            | 92.4 | A | 89.3 | 89.7 | 93.4 | 93.7 | 94.4  | 94.4  |
|          | 2  | 書く力(考える力)              | 86.8 | B | 90.7 | 88.6 | 80.7 | 80.1 | 88.9  | 94.7  |
|          | 3  | 説明する力<br>(自分の考えを発信する力) | 79.6 | C | 75.8 | 80.8 | 85.1 | 86.3 | 77.8  | 94.7  |
|          | 4  | 「できる」ようになる<br>授業・学習    | 93.3 | A | 94.4 | 93.2 | 96.5 | 95.7 | 88.9  | 89.5  |
|          | 5  | 読書習慣                   | 67.7 | C | 78.4 | 78.3 | 65.8 | 63.5 | 58.8  | 76.5  |
| 豊かな心の育成  | 6  | あいさつ                   | 84.5 | B | 94.4 | 93.8 | 86.8 | 86   | 72.2  | 89.5  |
|          | 7  | 安心                     | 93.5 | A | 89.3 |      | 96.8 |      | 94.4  |       |
|          | 8  | 思いやり                   | 87.3 | B | 85.7 | 87.5 | 92.9 | 89.7 | 83.3  | 94.7  |
|          | 9  | 自己有用感                  | 82.3 | B | 81.7 | 84.3 | 87.4 | 86.9 | 77.8  | 84.2  |
| 健やかな体の育成 | 10 | 柔軟性・投げる力               | 73.9 | C | 86.8 | 91.9 | 81.6 | 78.3 | 53.3  | 70.6  |
|          | 11 | 食への感謝                  | 94   | A | 95.5 | 95.9 | 86.5 | 86.9 | 100.0 | 100.0 |
|          | 12 | 安全(ヘルメット着用)            | 84   | B | 80.1 |      | 83.6 |      | 88.2  |       |

※「総合評価」は三者の平均値で判定。

|                      |       |      |   |
|----------------------|-------|------|---|
| 全校<br>肯定的評価の<br>回答割合 | 90    | % 以上 | A |
|                      | 80~90 | %    | B |
|                      | 80    | % 未満 | C |

### H30【前期 学校評価 分析】

「学校が楽しい(安心)」・・・保護者評価が96.8%と高く、児童が楽しく学校に通ってきていることを大変うれしく思っている。児童・保護者・教職員の三者評価も高い評価になっているが、まだそう思っていない10%の児童が楽しいと思えるように、授業や学校生活の中で充実感や満足感を持たせたり、個々に応じたきめ細かな働きかけを行ったりして、「そう思う」児童を増やしていきたい。

「発信する力」・・・「説明する力」の児童評価が低く、まだまだ苦手だと感じている。児童の苦手意識をどのように克服していったらよいか、様々な学習形態を取り入れながら自分の意見をはっきり言える子を目指して学校研究を進めていきたい。

「できるようになる授業」「あいさつ」「食への感謝」・・・どの項目も児童評価が高く、児童の日常の実感を伴った評価であると思われる。

「読書習慣」・・・保護者評価、児童、教職員ともに低い評価である。昨年度の課題を受け、今年度は家読の日に「おうちで読書」に取組み、親子で一緒に読書に親しむ機会を設けた結果、温かいふれあいの中で読書に取り組む家庭が見られるようになってきた。今後もこの取組を継続していきたい。学校では毎週金曜日3冊貸出をし、読書を推進しているので、お家での読書の声かけをお願いしたい。

「柔軟性・投げる力」・・・教職員の評価が極端に低く、かなり厳しくなっているのは、ｽﾎｰﾂﾁｬﾚﾝｼﾞへの取組が十分にできなかったことが考えられる。年間を通して、体育の時間に計画的に取り入れ、学校全体での取組を継続して行っていく予定である。

「安全(ヘルメットの着用)」・・・保護者評価は83.6%で所持・着用率は上がっている。たった1つのかけがえのない命を守るために自転車に乗らない児童を抜いて100%を目指していきたい。ヘルメットを持っている児童は常にかぶるように、また、持っていない児童は購入してかぶるようにご家庭での協力や声かけをお願いしたい。